

かかりつけ薬局の知っ得情報 ⑭

『胃』

「胃痛や胸焼けなどの自覚症状はあるのに、検査してもそれを説明できる原因となる炎症などは見受けられなかった」そんな状態になったことはありませんか？ 従来はそんな状態を、「慢性胃炎」「ストレス性胃炎」とか言っていたようですが、最近では「機能性ディスぺプシア」と診断されることがあります。

胃カメラ検査はとも薬に受けられるようになり、結果的に炎症などはなかったことがわかります。しかし、胃の「機能」失調が現実問題として起こっているため、「機能性」という文字を付けています。また、「ディスぺプシア」とは、消化不良を意味するギリシャ語のよです。

特に年末年始はともすると暴飲暴食とまではいなくとも、仲間や家族などが集まって飲食の機会が増えますから要注意の時期かもしれません。ストレスや不規則な生活などがきっかけで胃腸の働きが低下し、諸症状の原因となります。

具体的には、良く消化できなかったり、胃から腸へ押し流す力が弱まることによる、胃痛、胸焼け、吐き気などのほか、飲み込みづらさ、食後のもたれ、少しの食事で感じる満腹なども含まれ、実に症状は多彩です。年齢や性別などよりも、ストレスや過食、不規則な食生活、喫煙、過度なアルコール摂取などが引き金になっているのではないのでしょうか。

治療方法としては、内服薬が一般的に用いられ、「消化不良」「腸へ押し出す力の低下」などによってお薬を使い分けられていると思います。また、ストレスが考えられる場合、抗うつ薬などを検討する

冬は流行性急性胃腸炎に ついては、手洗い、うがいでの予防と、栄養や睡眠に気をつけていたでき、かかってしまったら消耗の激しい疾患でもあるのですぐに医療機関への受診をお勧めします。



薬局は気軽に相談できるところでもあります。相談は薬局の大切な業務のひとつです。受診勧奨も含めてお役に立てればと思います。

担当薬剤師 眞嶋 英子
問い合わせ ☎047・360・3600 一般社団法人松戸市薬剤師会

健康相談
お受け致します
オリビエ薬局 鎌ヶ谷店
鎌ヶ谷市 東初富6-9-48
☎047・401・3717